



2026年3月期 通期 決算説明会資料

2026年6月3日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社



本日のアジェンダ



- | | |
|----------------------|------|
| 1. 2026年3月期 通期 連結決算 | P.3 |
| 2. 2027年3月期 通期 業績見通し | P.13 |
| 3. トピックス | P.21 |



1. 2026年3月期 通期 連結決算

(単位：百万円)

	25/3月期	26/3月期	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	73,255	82,886	9,630	13.1%
営業利益	5,351	10,107	4,756	88.9%
経常利益	5,737	10,372	4,635	80.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,585	6,169	3,583	138.6%

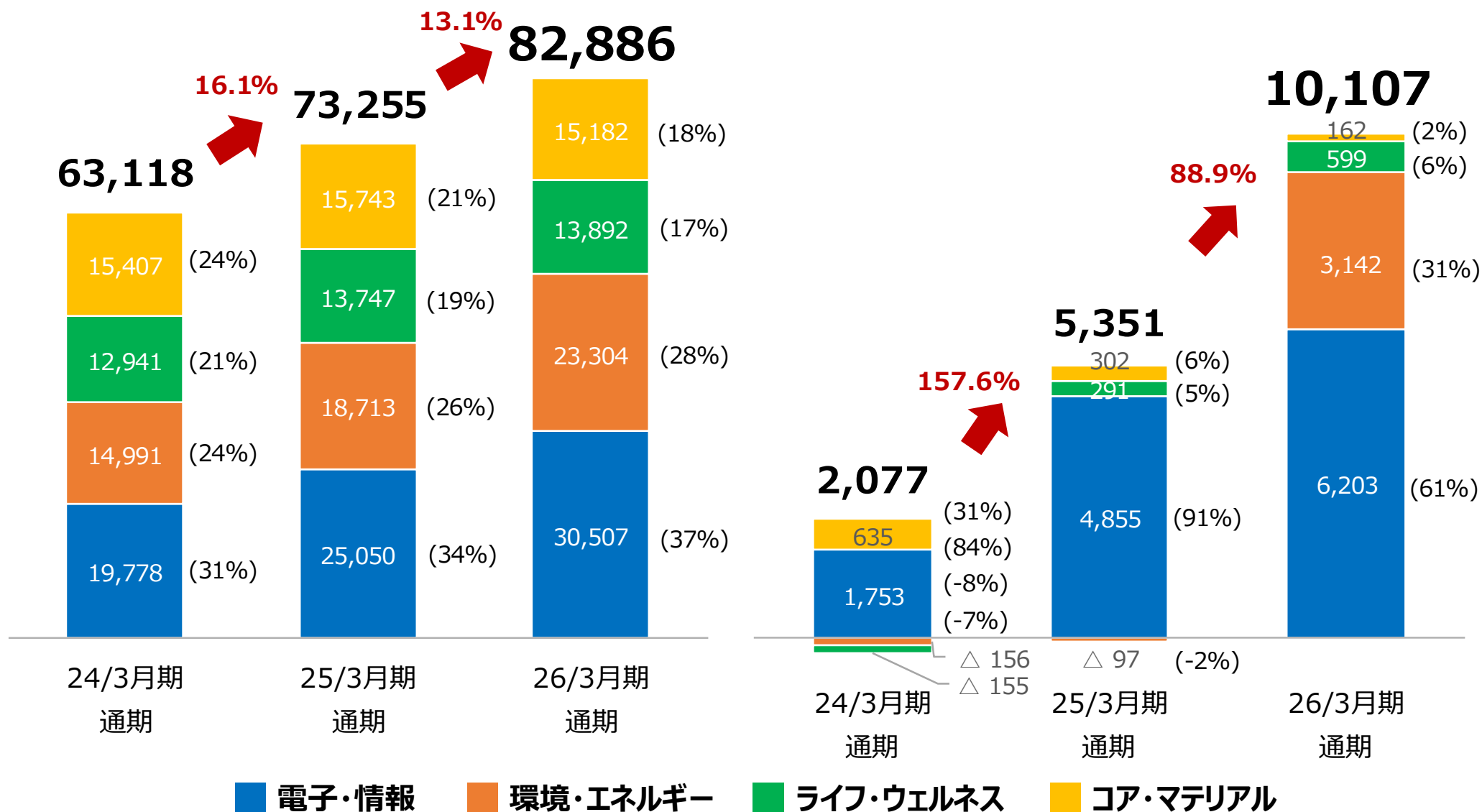
増収  売上高:低誘電樹脂及び電池用材料の販売が伸長

増益  営業利益:高収益品の売上高伸長により過去最高益を更新

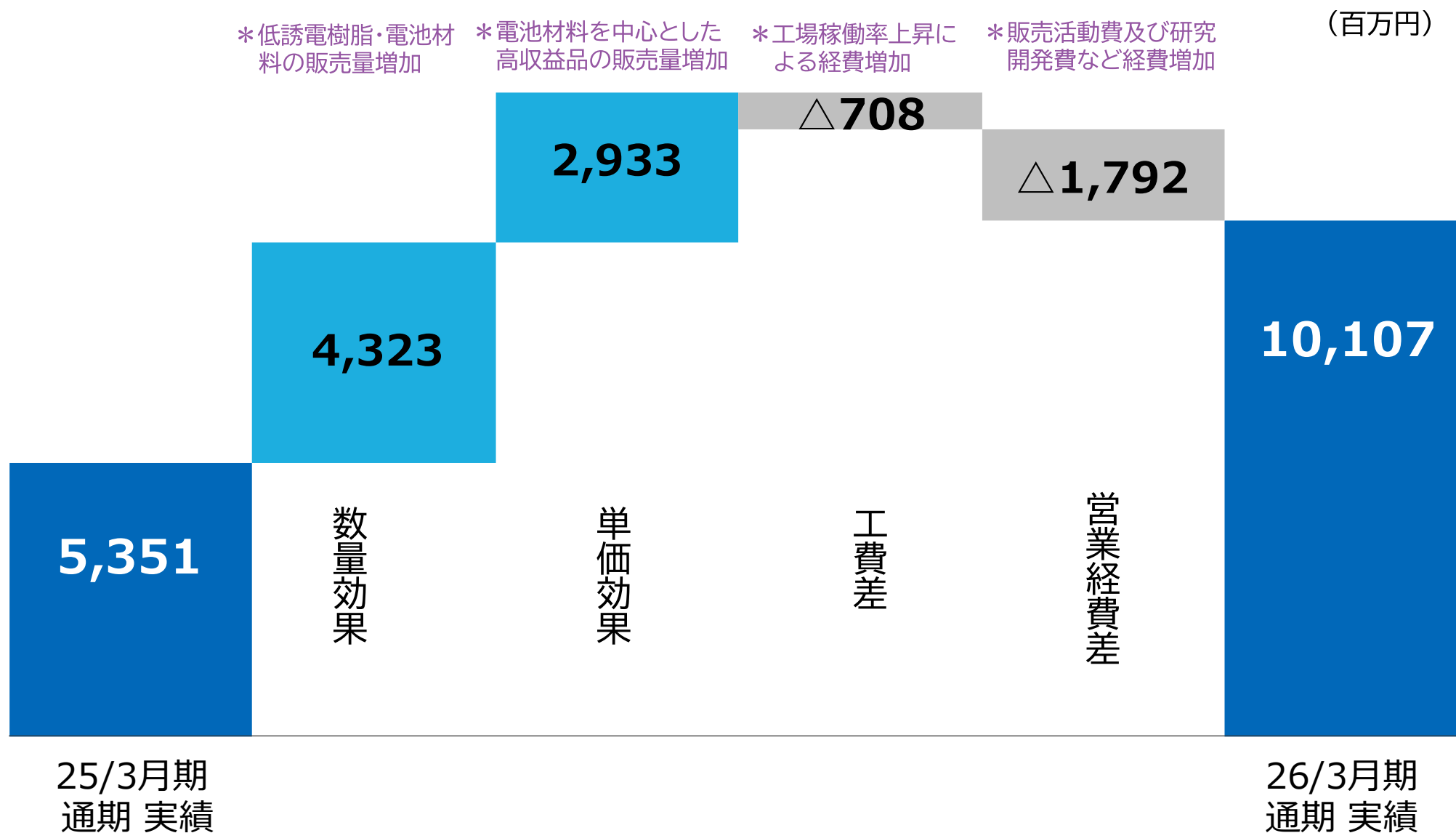
売上高

営業利益

() : 構成比
(百万円)



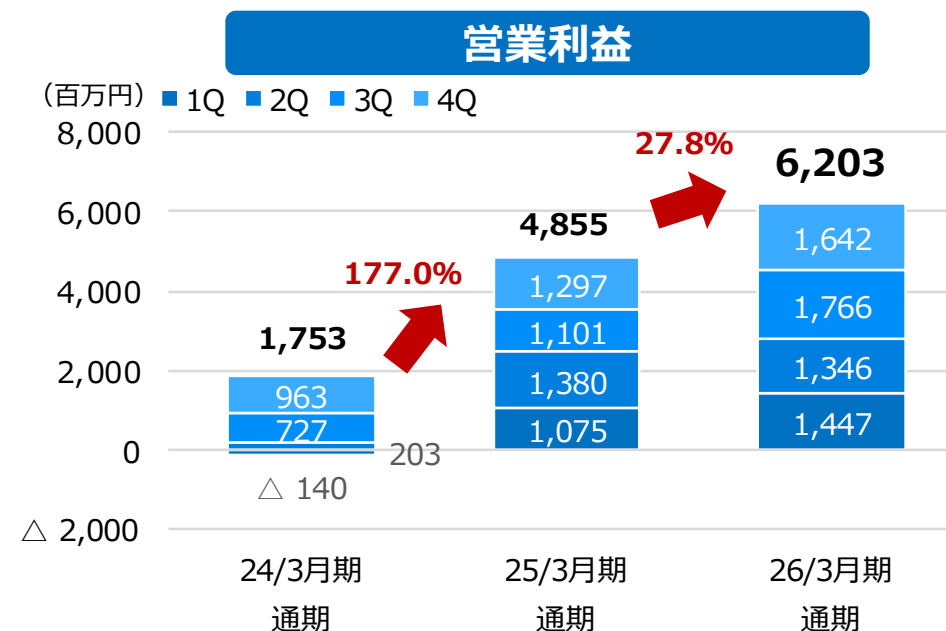
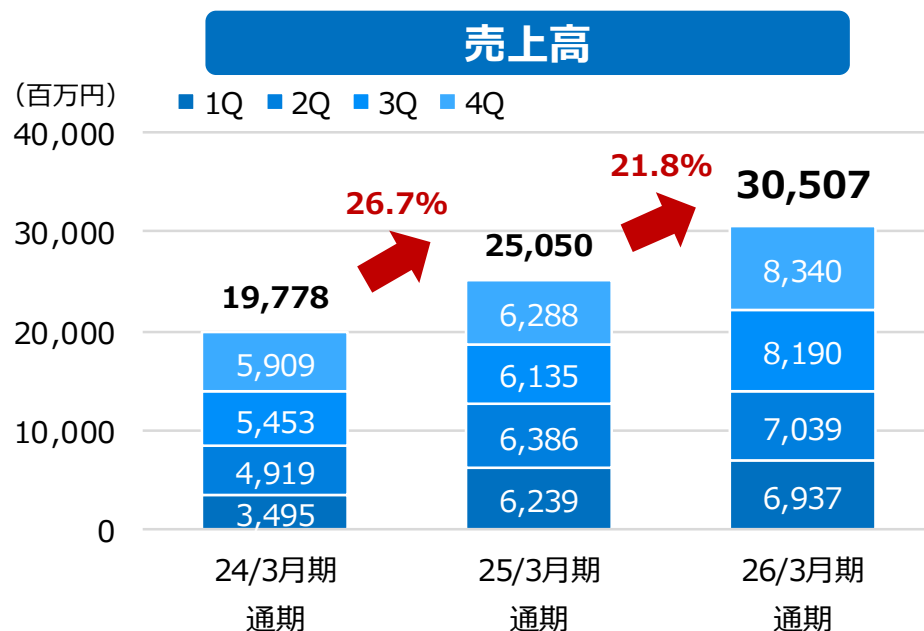
2026年3月期 営業利益増減分析



連結 セグメント業績 電子・情報



IT・電子部品の付加価値を高める高機能材料を提供



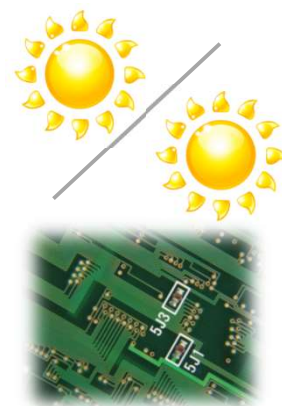
売上高：総じて大幅に伸長

- 低誘電樹脂：大幅に伸長
- 難燃剤：大きく落ち込む
- 特殊界面活性剤：低調に推移する

営業利益：増益

- 売上高が伸長

低誘電樹脂



筐体用難燃剤



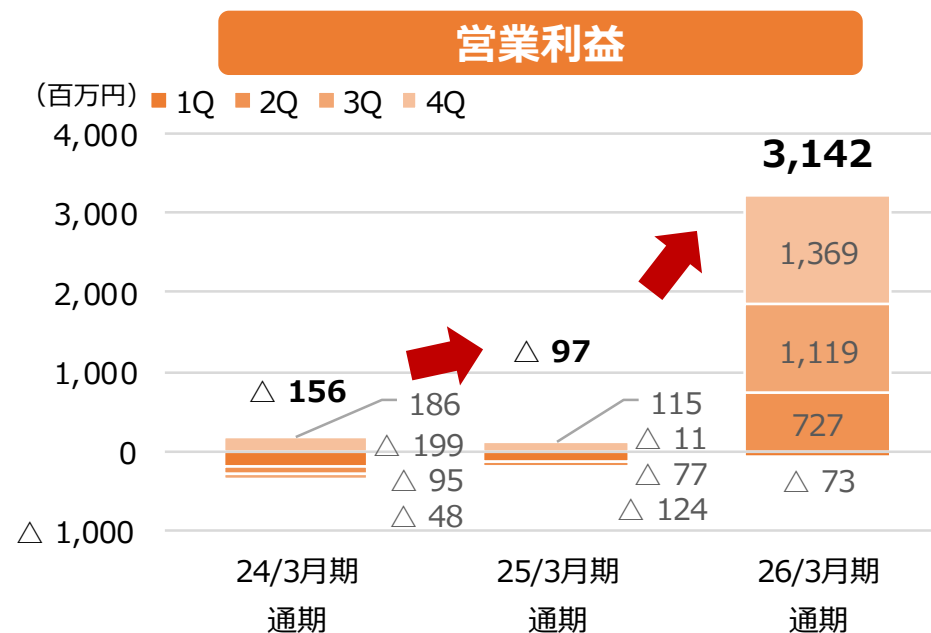
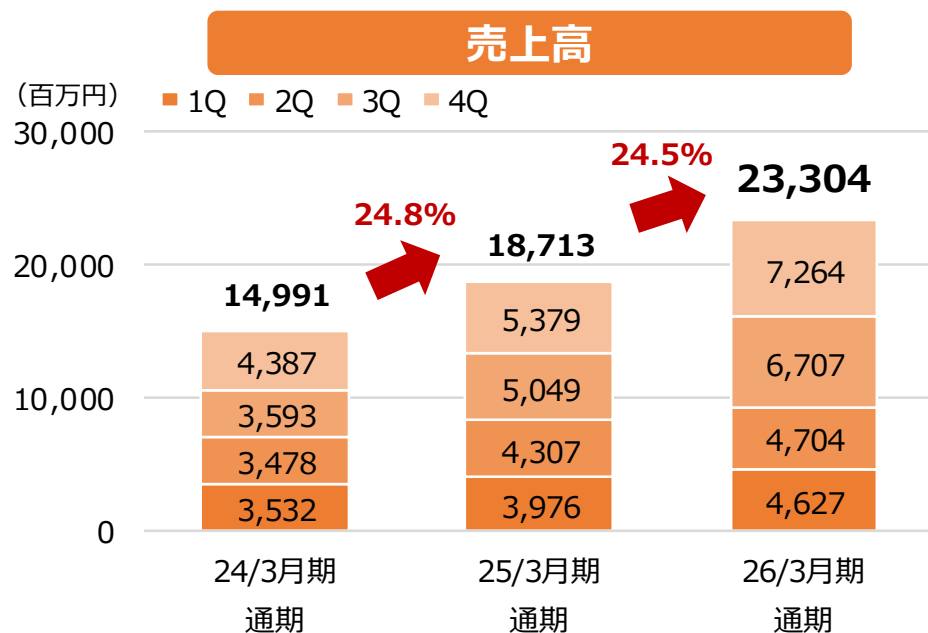
特殊界面活性剤



連結 セグメント業績 環境・エネルギー



環境負荷低減とエネルギー分野を支える製品を提供



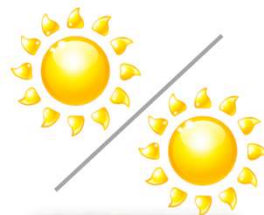
売上高：総じて大幅に伸長

- 電池用材料:大幅に伸長
- 基板用封止材:大幅に伸長
- 太陽電池用途:海外で大きく落ち込む

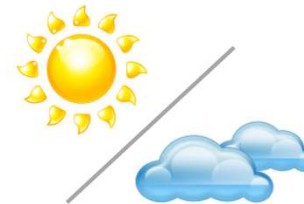
営業利益：増益

- 高付加価値品の売上高が伸長

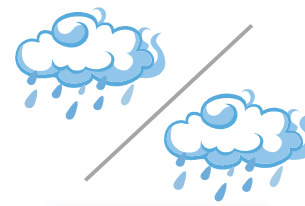
電池用材料



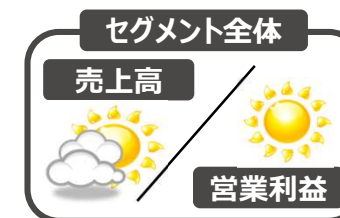
基板用封止材



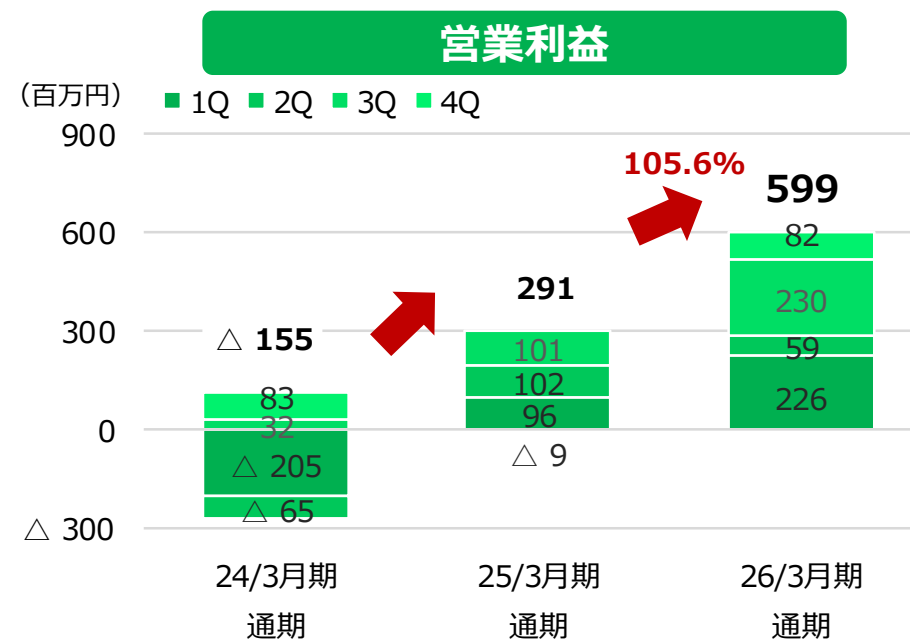
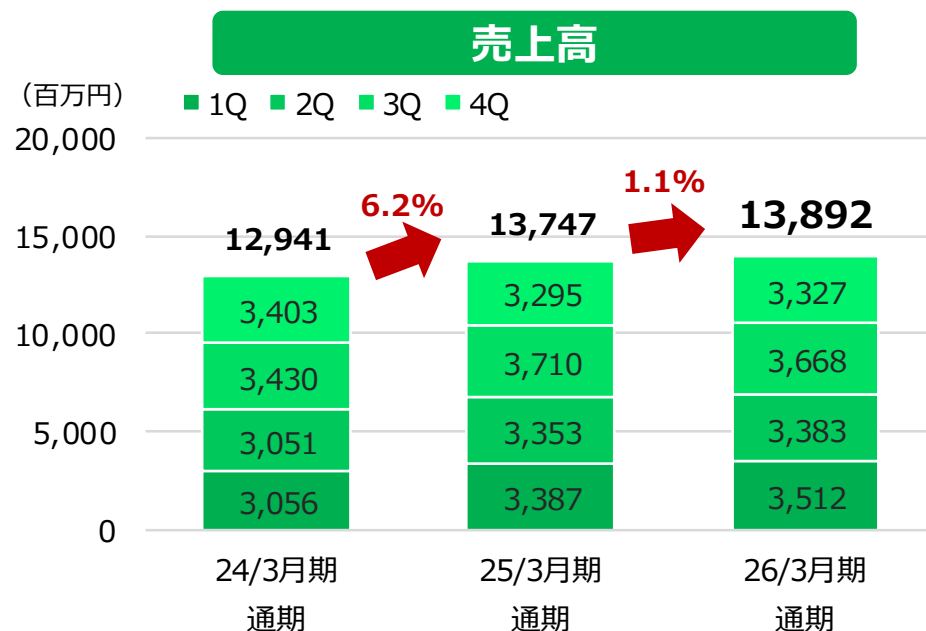
太陽電池用途



連結 セグメント業績 ライフ・ウェルネス



健康で快適な社会づくりに貢献する技術や機能性材料を提供



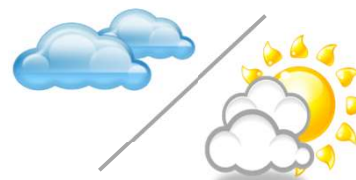
売上高：総じて堅調に推移

- 石鹼洗剤用途：低調に推移
- 食品用途：国内・海外共に堅調に推移
- 香粧品用途：海外で堅調に推移

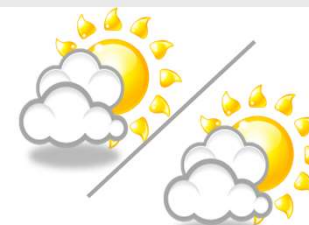
営業利益：増益

- 採算性改善

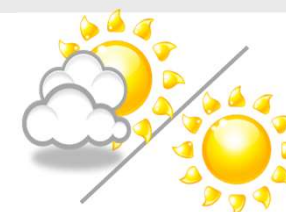
石鹼洗剤用途



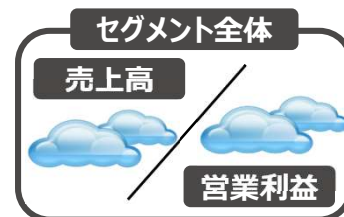
食品用途



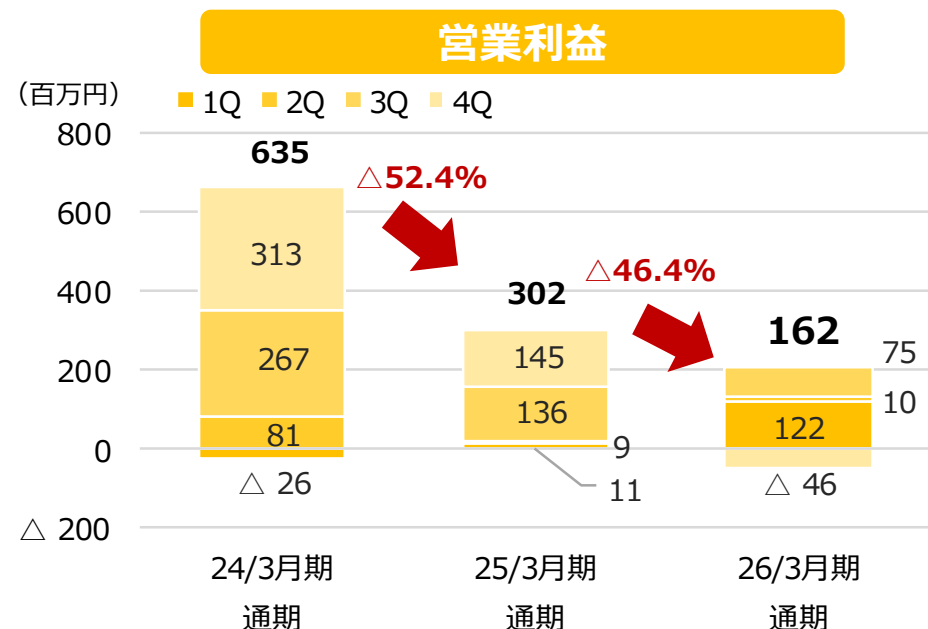
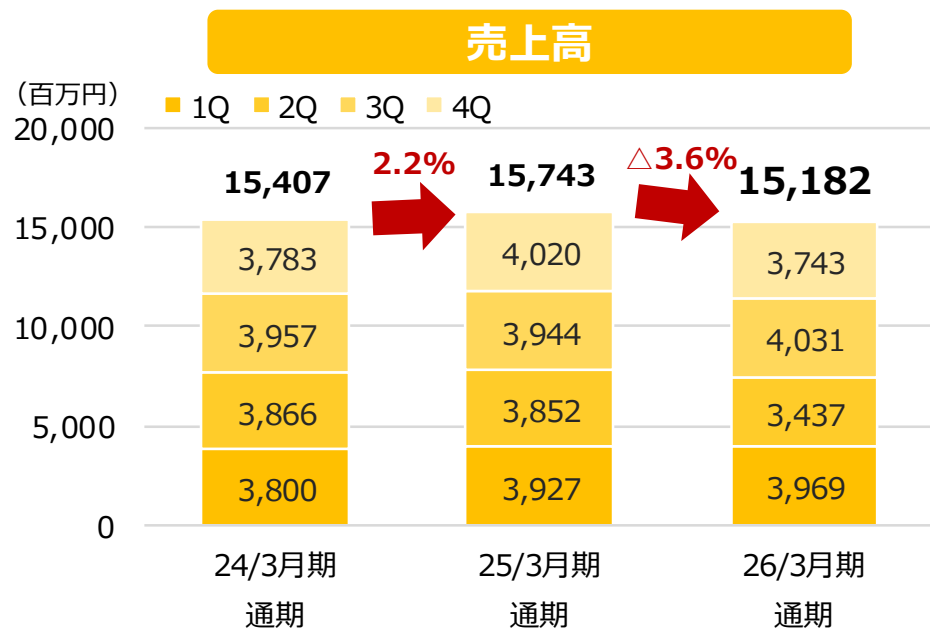
香粧品用途



連結 セグメント業績 コア・マテリアル



多様な産業分野で機能性と利便性を高める素材を提供



売上高：総じて低調に推移

- 土木・建築用途：大幅に落ち込む
- プラスチック用難燃剤：低調に推移

営業利益：減益

- 営業経費の増加

土木用薬剤:岩盤固結



プラスチック用難燃剤



(単位：百万円)

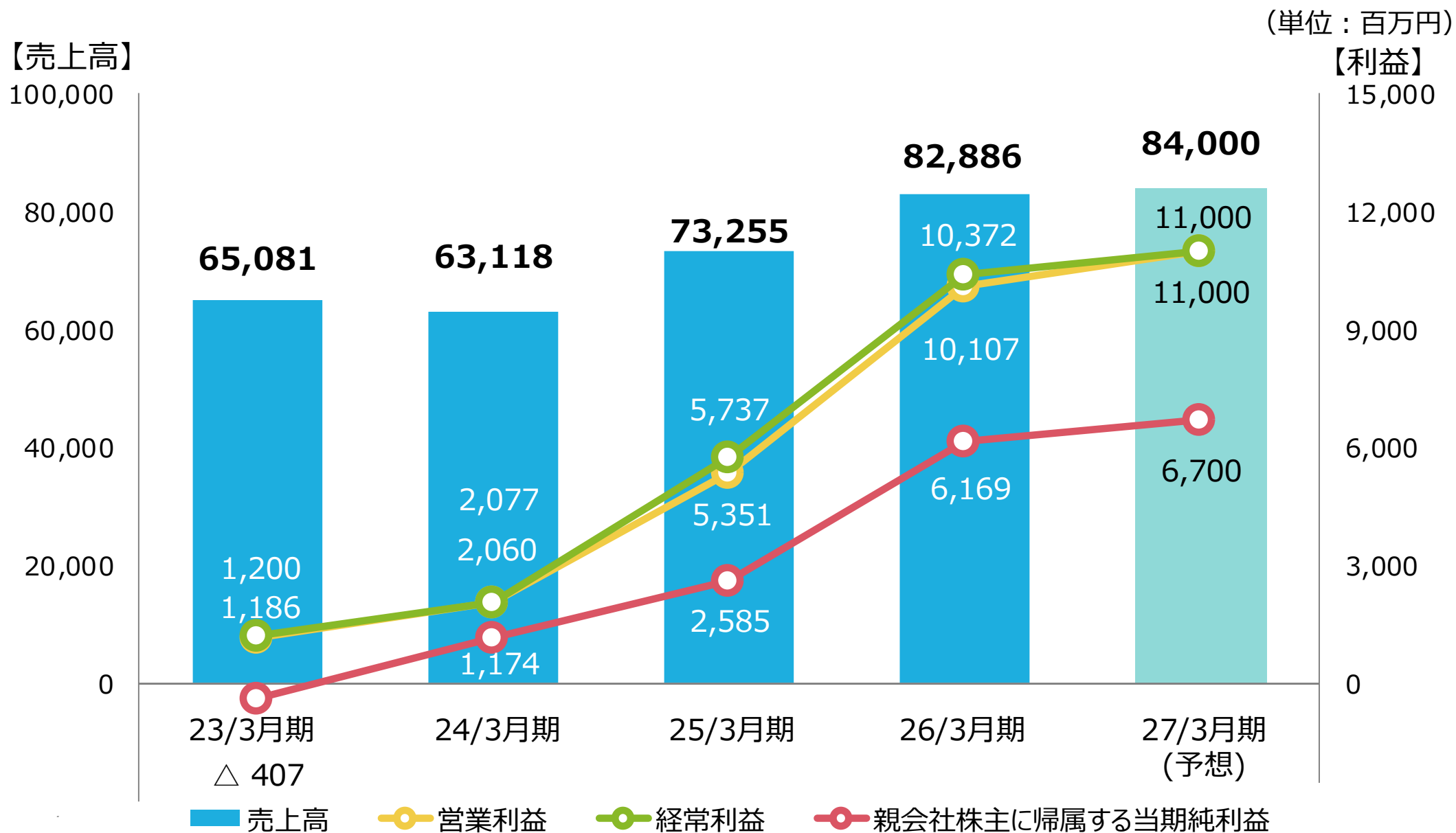
	2025年 3月末	2026年 3月末	増減額		2025年 3月末	2026年 3月末	増減額
流動資産	57,247	69,382	12,134	流動負債	26,532	39,562	13,030
現預金	16,751	24,031	7,279	仕入債務	13,985	15,739	1,754
売上債権	22,159	23,545	1,385	有利子負債	6,824	14,470	7,646
棚卸資産	15,900	18,724	2,824	その他	5,723	9,352	3,629
その他	2,435	3,080	644	固定負債	26,075	17,183	△ 8,892
固定資産	39,865	45,621	5,756	有利子負債	24,526	14,674	△ 9,851
有形固定資産	31,398	33,328	1,929	その他	1,549	2,508	959
無形固定資産	250	268	17	負債合計	52,608	56,746	4,137
投資・その他の資産	8,215	12,024	3,808	純資産	44,504	58,257	13,753
合計	97,113	115,003	17,890	合計	97,113	115,003	17,890

(単位：百万円)

	25/3月期 通期	26/3月期 通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,528	9,962	2,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,138	△ 3,536	△ 1,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,045	854	5,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	264	△ 7	△ 272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	609	7,273	6,663
現金及び現金同等物の期末残高	16,556	23,830	7,273



2. 2027年3月期 通期 業績見通し



セグメント	用途	状況	2027年 3月期
電子・情報	情報通信	・ハイエンドサーバー向け需要は引き続き強い	
	ディスプレイ	・需要堅調も、メモリー高騰影響で端末販売台数減予想。	
環境・エネルギー	リチウムイオン電池(Lib)	・中小型LiBの市場は、今後も堅調な成長を予測。	
	自動車・二輪	・二輪向けは海外が牽引し堅調。 ・四輪はxEVを中心に復調傾向。	
ライフ・ウェルネス	アメニティ (食品・生活・健康)	・高機能、利便性への国内外のニーズは引き続き堅調に推移。	
	クリーニング	・ホームクリーニングは縮小 ・ホテルリネンはインバウンド需要によって堅調	
コア・マテリアル	インフラ (公共工事)	・インフラに関連する大型物件は堅調に推移	
	家電・住宅建材 (難燃剤)	・中国景気の停滞により需要は復調せず ・中国現地メーカーの低価格戦略により市況価格上昇せず	
具体的な対策		①新規案件及び顧客需要への機敏な生産対応 ②営業・研究活動の加速による既存市場の横展開、次世代品の開発 ③地政学リスクに伴う原材料・エネルギー価格上昇への対応(価格転嫁)	

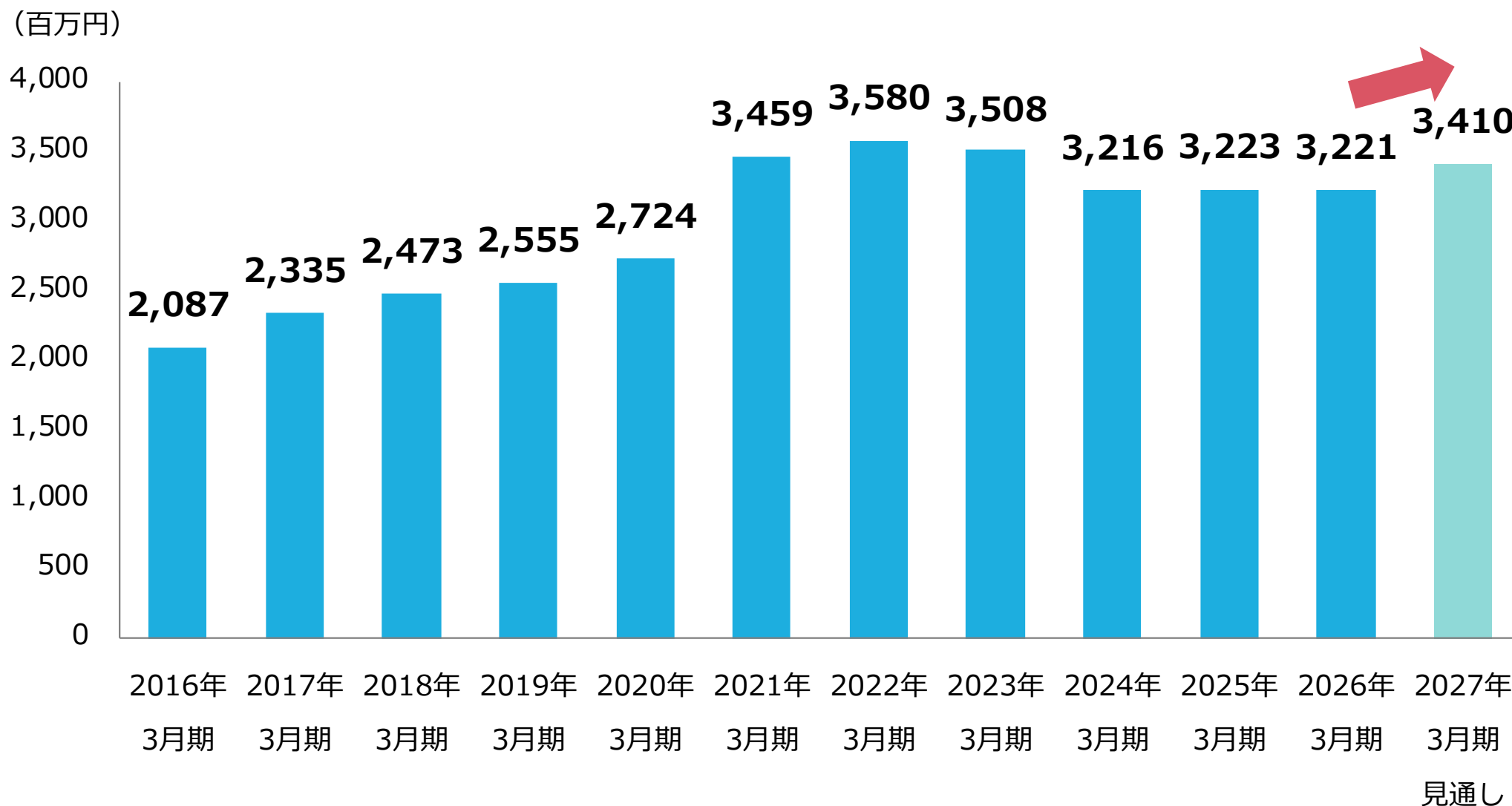
セグメント 単位：百万円	2026年3月期（実績）				2027年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
電子・情報	13,976	16,530	30,507	37	15,000	16,000	31,000	37	493	2
環境・エネルギー	9,331	13,971	23,304	28	12,000	13,000	25,000	30	1,696	7
ライフ・ウェルネス	6,896	6,995	13,892	17	7,000	7,000	14,000	17	108	1
コア・マテリアル	7,406	7,774	15,182	18	7,000	7,000	14,000	17	△ 1,182	△ 8
合 計	37,611	45,274	82,886	100	41,000	43,000	84,000	100	1,114	1

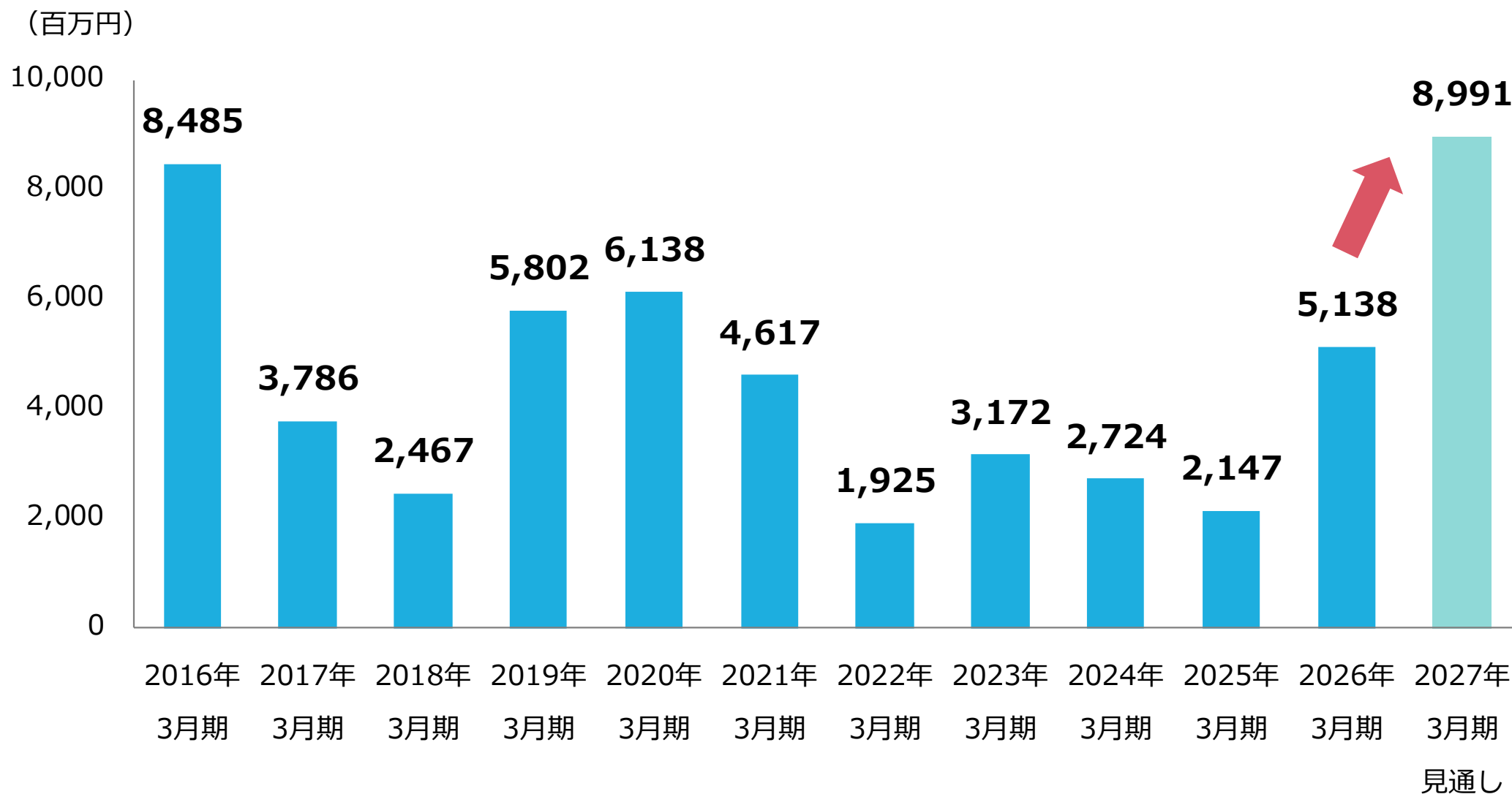
※中東情勢緊迫化の影響は、現時点で合理的な算定が困難なため、業績予想に含めておりません。

セグメント 単位：百万円	2026年3月期（実績）				2027年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
電子・情報	2,794	3,408	6,203	61	3,200	3,300	6,500	59	297	5
環境・エネルギー	654	2,488	3,142	31	1,700	2,000	3,700	34	558	18
ライフ・ウェルネス	286	312	599	6	300	350	650	6	51	9
コア・マテリアル	132	29	162	2	50	100	150	1	△ 12	△ 7
合 計	3,868	6,239	10,107	100	5,000	6,000	11,000	100	893	9

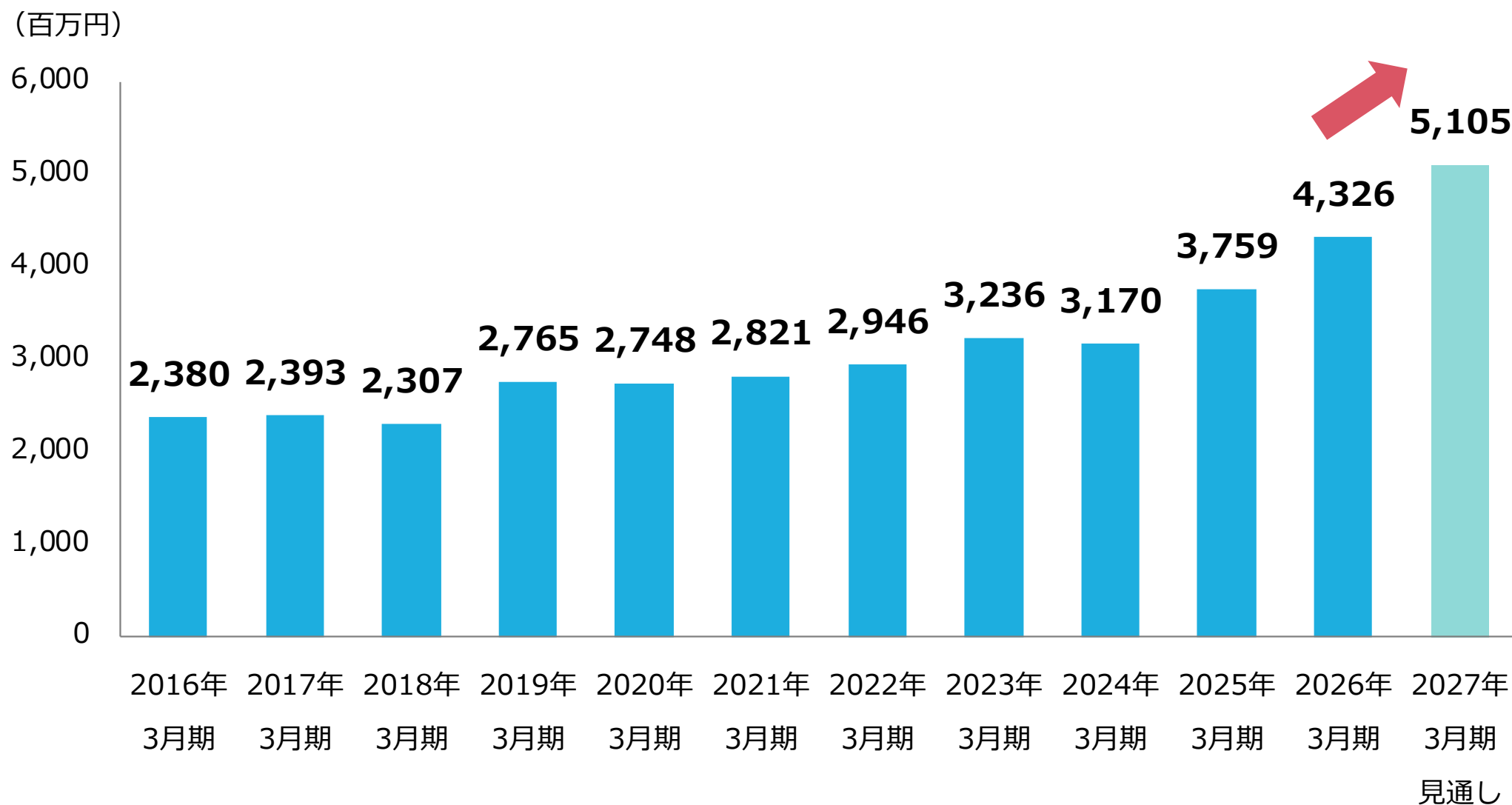
※中東情勢緊迫化の影響は、現時点で合理的な算定が困難なため、業績予想に含めておりません。

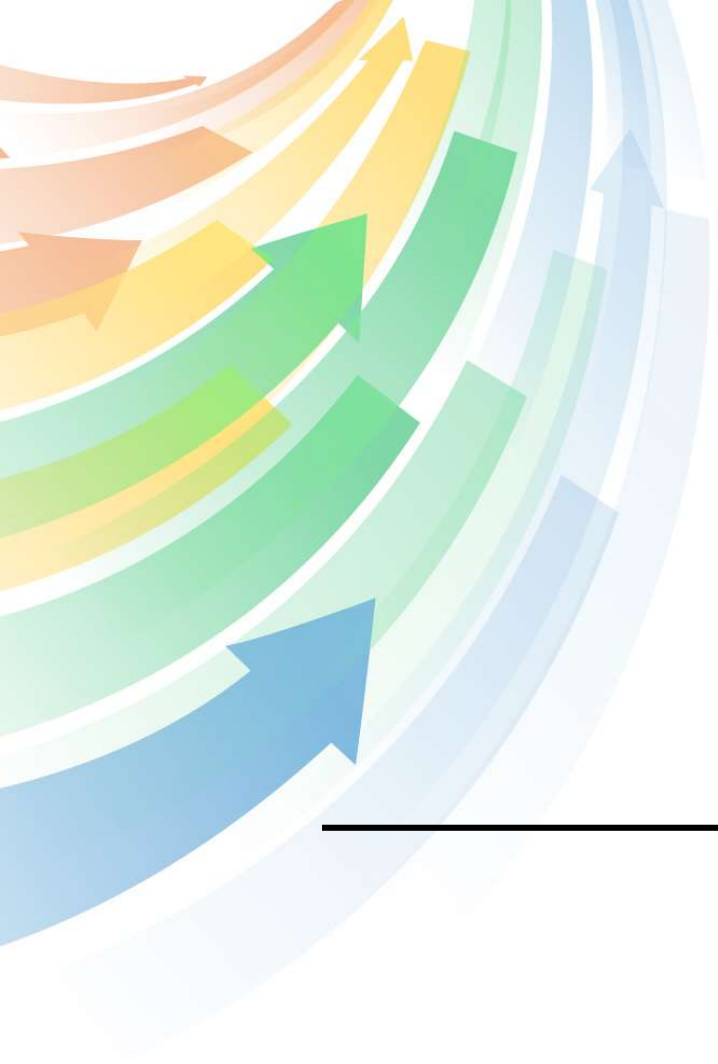
連結 減価償却費の推移





連結 研究開発費の推移

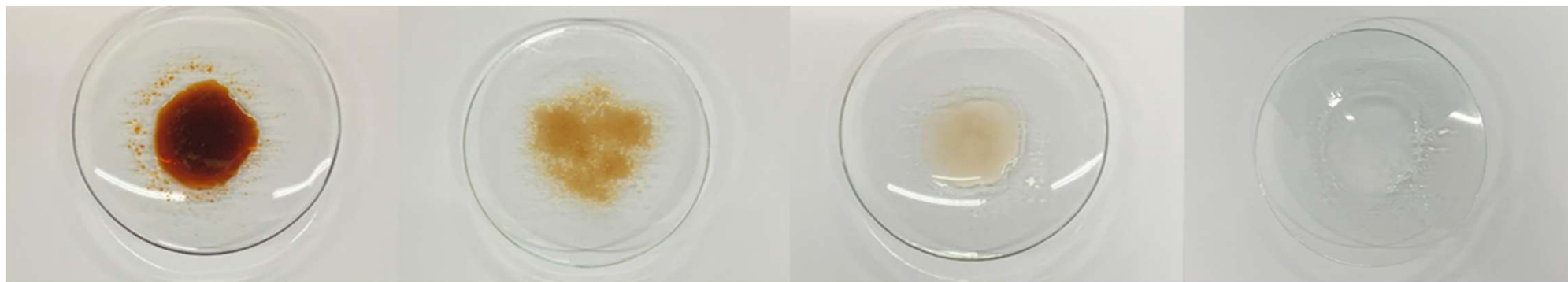




3. トピックス

高耐熱樹脂添加剤「トレハロース誘導体」を開発！

300℃級の樹脂成形にも対応可能なトレハロース由来の新素材を開発しました。バイオ由来原料を用いることで、樹脂の高機能化と環境負荷低減を両立できます。現在は、自動車の内装材や電子機器の筐体・コネクタなど、高温成形が求められる領域向けにサンプル提供と技術開発を促進しています。



一定時間高温環境においた製品
(左から、ショ糖、トレハロース、ショ糖誘導体、トレハロース誘導体)

【詳細はこちらからも確認いただけます】
<https://www.dks-web.co.jp/news/>



大潟工場の使用電力を100%再生可能エネルギーへ転換 年間約 4,000 トンの CO2を削減！

太陽光発電所から電力を供給する「オフサイトPPA」と、再エネ電力メニューを組み合わせ、安定的な再エネ調達を可能にしました。

今後もGX戦略に基づき再エネ比率を段階的に高め、持続可能な社会の実現と企業価値の向上をめざします。



第一工業製薬 大潟工場
所在地:新潟県上越市大潟区犀潟230



【詳細はこちらからも確認いただけます】
<https://www.dks-web.co.jp/news/>

人的資本を基盤としたサステナビリティ経営を推進 女性のキャリア志向向上をサポート！

「女性のキャリア志向向上ワーキンググループ」を発足し、キャリア形成支援や課題の明確化に取り組んでいます。

多様な人財がそれぞれの能力を発揮し、安心して働き続けられる環境づくりを強化することで、企業の成長と持続可能な社会の実現に貢献していきます。



女性管理職との座談会の様子



【詳細はこちらからも確認いただけます】
<https://www.dks-web.co.jp/news/>



業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

管理本部 戦略統括部 広報IR部 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp